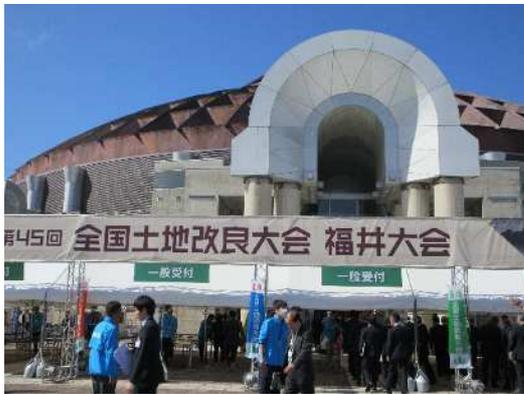


第 45 回全国土地改良大会福井大会開催

10月11日に、第45回全国土地改良大会福井大会が、全国の土地改良関係者約4千人が参加し、福井県のサンドーム福井で開催されました。今回のテーマは、「水土里（みどり）がある 幸福（しあわせ）せがある 笑顔がある ～ふくいで語る土地改良の未来～」。

東京からは、当連合会長をはじめ4名が出席しました。福井県土地改良事業団体連合会長の開会挨拶、全国土地改良事業団体連合会長の主催者挨拶、福井県知事等の歓迎のことば、来賓祝辞に続き、土地改良事業功績者表彰、基調講演、優良事例紹介、大会宣言が行われました。



会場の様子



二階全土連会長の挨拶を代読する義経副会長

10月12日は、福井県の土地改良施設などを視察しました。

国営かんがい排水事業で整備された九頭竜川下流地区のかんがい施設は、4市町にまたがり、受益面積が11,642haという大規模なものです。幹線用水路は54.8km、パイプラインの最大口径は3.5mもあり、広域の水田地域に農業用水を安定的に供給しています。



かんがい施設の説明を受ける



このパイプラインが埋設